

第9回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日 時：平成14年11月5日（火） 午後7時05分～9時05分

2. 会 場：都庁第一庁舎5階 大会議場

3. 出席者：27名

関係者（敬称略）

須山 直哉（練馬）、武田 佳登（練馬）、湯山 茂（練馬）、宿澤 藤子（杉並）
 本橋 又藏（杉並）、濱本 勇三（武蔵野）、村田 あが（武蔵野）、川瀬 春吉（三鷹）
 新 守一（三鷹）、米津 鐵雄（三鷹）、小林 充夫（調布）、渡辺 俊明（調布）
 石井 一成（狛江）、橋本 妙子（狛江）、秋山 光男（世田谷）、江崎美枝子（世田谷）
 栗林 勝彦（世田谷）

地元自治体

水上 英昭（練馬区部長）、倉田 征壽（杉並区部長）、伊藤 隆造（武蔵野市部長）
 柴田 直樹（三鷹市部長）、大貫 浩司（狛江市部長）、栗下 孝（世田谷区部長）

国土交通省・東京都

大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官）、伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）
 成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長）、宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約120名

5. 概 要：

【新聞報道について】

- ・新聞記事については、取材等を受けたこともなく、事実無根である。
- ・新聞記事が誤報であるなら、抗議するべき。
- ・東京都がリークすることはまずあり得ない。裏読みすると国がやったのではないかと思われるが、事実をこの場で答弁して信頼を回復してもらいたい。
- ・11月4日の読売で引用されている行政のコメントについて、根拠をこの協議会で示すべき。

【協議会の進め方について】

- ・各協議員がこの協議会について、基本認識、目的、位置づけなどどのように考えているか聞きたい。
- ・運営の方法、議題の整理などについて考えるために、事務局と協議会有志による「話し合いの場」づくりを提案する。
- ・会議のあり方、今後の課題の提案、都民の要求に応える議論等について要望する。
- ・資料はもっと早く配付し、協議会では要点の説明だけにしないと議論が進まない。
- ・資料の解釈が追いつかないので、一度資料を凍結して議論を整理するべき。
- ・議論の仕方をどうしていくかという議論は無駄。中身の議論をすべき。

【必要性の有無（効果と影響）について】

- ・関越道～東名高速間の外環道は中央道とだけ連絡して、途中のインターチェンジはつくり、大深度トンネル1本つくればよい。
- ・新たに道路を整備することやロードプライシングということだけでなく、別の方法を考えるべき。道路を整備しても、誘発交通が発生して、渋滞は解消できない。
- ・都市計画審議会に関する都の資料は、1999年の都市計画学会で発表された資料と違って

【その他】

- ・11月15日の有識者委員会の結果を次回（11/21）協議会の方へ報告して欲しい。
- ・次回は、11月21日（木）午後7時より、3つの論点（どのような項目をいつ議論するか、必要性の有無の資料について、S41年の都市計画決定について）に議論を絞っていきたい。